



楽しい学校給食にするために

南会津郡下郷町立檜原小学校

一、基本的な構え

○学校給食は小学校指導要領改訂により「特別活動」の「学級指導」に位置付けられ、そのねらいが、「学校給食指導を通して、食事の正しいあり方を体得させるとともに、食事を通して、好ましい人間関係を育成し児童の心身の健全な発達に資する」とある。したがって、学級指導における学校給食指導は、計画的に進めなければならない。

○給食時間は、栄養のバランスのとれた食事を取ることばかりでなく、教師と児童、及び児童相互の人間関係を深め、学校生活を明るく豊かなものとするものであり、人間形成上大切な指導の場である。

二、楽しい給食にするための条件

(一) 環境からくる楽しさ

食事をするには、食事にふさわしい環境を構成することによって食欲をそそり、楽しさを醸し出すような環境でなければならぬ。

黒板にカーテンをかけ、机を合わせて、テーブルクロスをかけ、食卓に花や工作の作品を飾ることに
より、普通の学習環境と変わり、食堂化が図られ、楽しさが得られる。
(二) 作業からくる楽しさ

「静から動へ」、係活動、セルフサービス、グループ内の分担など、一人一人が作業を分担し、み